

### (3) 平成13年7月5日から6日にかけての大雨による災害

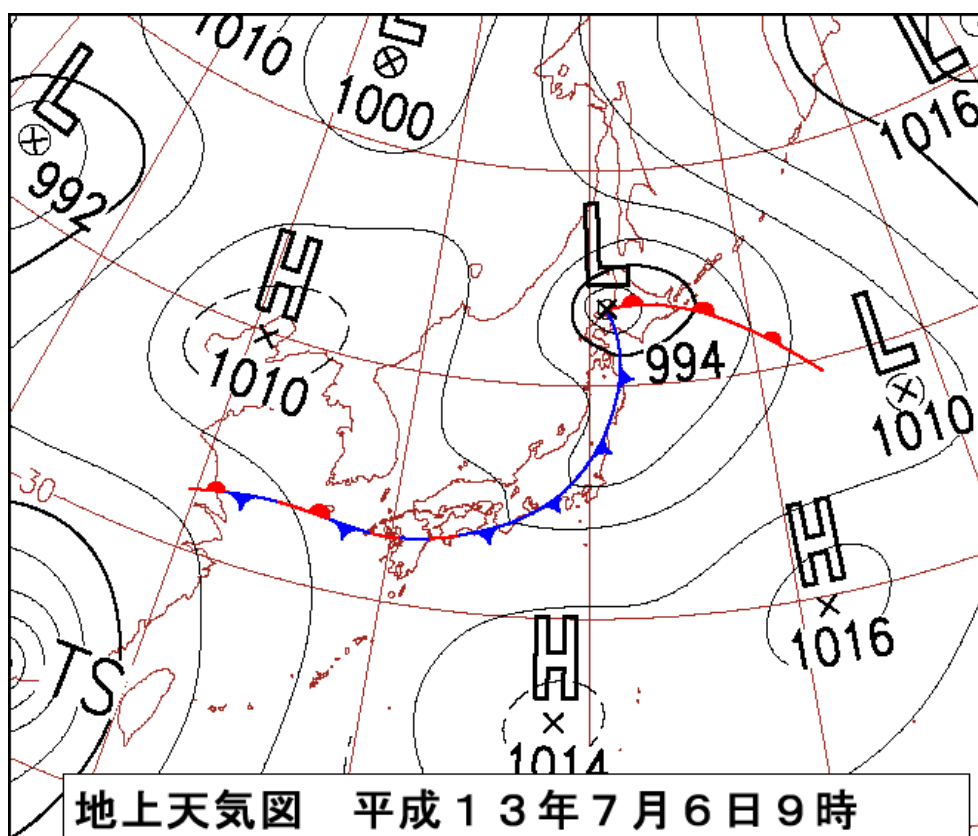
#### 気象概況

日本海を東進した低気圧から延びる前線が5日は朝鮮半島を南下し、6日は九州を南下した。福岡県では5日昼過ぎから雨となり、日降水量は多い所で70mmに達した。6日は前線の活動が活発となり、日降水量は各地で100mmを超える大雨となった。

2日間の総雨量の多い地点は、黒木216mm、九千部山165mm、前原164mmなどであった。

5日の日降水量の多い地点は、添田74mm、行橋47mm、前原31mm、英彦山30mmなど、6日の日降水量の多い地点は、黒木187mm、大牟田142mm、九千部山139mm、前原133mm、福岡103mm、行橋103mm、英彦山102mmなどであった。

また、1時間降水量の多い地点は、黒木53mm(6日1時)、大牟田48mm(6日7時)、前原44mm(6日5時)、九千部42mm(6日6時)などであった。



(福岡管区气象台)